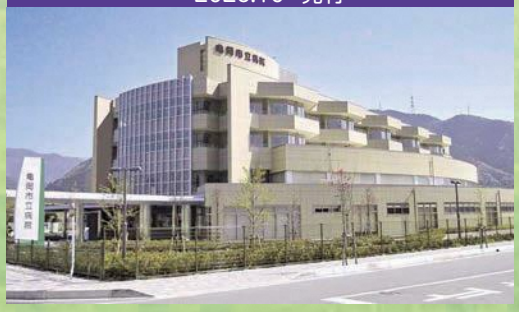
Vol.38

2026.10 発行



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585
京都府亀岡市篠町篠野田1-1
ＴＥＬ 0771－25－7313
ＦＡＸ 0771－25－7312
https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/

病院理念

■急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。

■患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。

■地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。

■公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ…… 1
当院の乳がん検診体制について…… 2.3
新任医師紹介…… 4
2026 年度健康講座について…… 5
病院の季節を彩る花や緑…… 6
栄養科より
美味しい！簡単！健康レシピの紹介
地域連携医のご紹介…… 7
編集後記
外来担当医表…… 8

桔梗 ききょう

亀岡市立病院広報誌

ごあいさつ

亀岡市立病院は、亀岡市内で急性期医療を完結させるという理念を基に、今から 22 年前に 100 床の急性期病院として誕生しました。

その後、新しい専門医プログラムが発動し、若手医師は専門医をとるために大規模基幹病院に集中した影響もあり、当院の常勤医師が減少し、収益面では苦しい状況が続くこととなりました。

Covid19（新型コロナウイルス）パンデミック下では、亀岡市内で唯一、感染者の入院治療を行い、市民の皆さまに当院の存在を再認識していただく契機となりましたが、本当の試練はコロナ禍後にやってきました。

人件費の上昇に加え、円安や世界情勢に伴う医療機器、薬品は 2 桁台で高騰しているのに対し、今年度の診療報酬改定では、3% 程度と微々たる上昇しか認められませんでした。多くの病院では、職員給与を据え置き、赤字を減らす努力をしていますが、そのことで人材不足が加速し、このままでは多くの病院が倒産することは必定です。

あえて言えば、2040 年代以降には人口急減することから、国はすでに 3 割程度の病院倒産を見越しているのかもしれません。しかしながら、それまでの 15 年間は後期高齢者の増大が続くため、需給ギャップから患者さんが行き場を無くすことにならないか大変心配になるところです。

当院についても、これまでどおりでよいというわけにはまいりません。近隣の基幹病院とこれまで以上に連携を強化し、特徴ある急性期医療の一部は残しつつ、包括期の機能をより充実させ、時代にあった病院運営を進めてまいります。

患者さん側からするとすべての医療を近くで受けられない場合もあろうかと思いますが、他の医療機関と連携しながら、地域での暮らしを支える病院であり続ける所存でございますので、ご理解いただきながら引き続き当院をご利用いただけますと幸いです。



亀岡市病院事業管理者
兼亀岡市立病院病院長事務取扱
兼地域医療情報センター長

田 中 宏 樹

Kameoka municipal hospital



当院の乳がん検診体制について

病院長　田中 宏樹

日本女性で１年間に新たに乳がんになる方は10万人を超えており、女性9人に1人以上の方が乳がんを経験し、年間に16,000人以上が死亡されており、その数は増え続けています。

日本の検診受診率が欧米やお隣の韓国（70 ～ 90％）などと比較して低いことが最も大きな理由と言われており、職場の検診や人間ドックなどを含めたデータがないため正確な受診率はわかりませんが、40％程度と考えられます。

乳がんの現状（日本）
新たに乳がんになる方（年間） 10万人超
乳がんで亡くなる方（年間） 16,000人以上
検診受診率（日本平均） 約40％

※欧米・韓国は70 ～ 90％



2024年導入
最新の
マンモグラフィ装置
（富士フイルム社製）

私は、2024年まで10年間、京都府医師会乳がん検診委員会委員長として、乳がん検診の精度管理や受診体制充実、資格者育成に尽力してきました。

また、当院は、亀岡市や近隣市町の乳がん検診（対策型検診）を実施しており、マンモグラフィの撮影担当技師も読影責任者である私も、20年前から乳がん検診精度管理中央機構の最高ランクの資格を更新し続けております。

さらには、2024年に富士フイルム社製の最新マンモグラフィ装置を導入し、全国的にみても優れた検診を実施していると自負しております。（一昨年の要精検率5.6％、がん発見率0.6％、陽性反応的中率11.4％）

当院の乳がん検診 実績（一昨年の実績）		
要精査率 5.6％	がん発見率 0.6％	陽性反応的中率 11.4％



にもかかわらず京都府全体の検診受診率は、全国平均よりもやや低く、当院の受診者数も低くなってきております。

そこで、当院では今年から新たな選択肢として
無痛MRI乳がん検診を導入致しました。

今年から、新たな選択肢を導入しました！





これはドゥイブス・サーチ社を立ち上げられた高原太郎医師が開発された、乳房のMRI拡散強調画像を利用してがんを検出する方法で、比較的新しい技術であるため、対策型検診に必要なエビデンスとされる死亡率減少効果は確認されていませんが、超音波検査と同様に任意型検診として実施することができ、ドゥイブス・サーチ社のデータでは、がん発見率は、0.2％程度で陽性反応的中率もマンモグラフィ検査を凌駕する成績とのことです。

マンモグラフィ検診との単純比較は困難ですが、これまでの無痛MRI検診の受診者は、マンモグラフィ検診受診者よりも若年者が多く、またデンスブレストという乳腺濃度が高く、がん発見が困難であり、かつ、マンモグラフィ検診が痛くて困っている方が多いことを考慮すると素晴らしい結果だと言えます。



無痛MRI乳がん検診は、被ばくがない、デンスブレストでも精度が落ちない、痛みがない、服を着たままでき、誰にも乳房を見られない、マンモグラフィ検診が不可能な人工乳房（金属が入っている一部を除く）を入れている方も検査ができることなどメリットが多くあります。（ペースメーカーや大きなtatoo（タトゥー）などがあると撮れないこともあります。）

近隣にお住まいの方で、過去にマンモグラフィ検診を受けて痛かったためその後受けられていない方や、デンスブレストと言われてマンモグラフィ検診では見逃しが心配な方、40歳未満であるが、家族に乳がんの方がおられて心配な方などは、是非ともこの無痛MRI検診をご検討いただけましたら幸いです。



なお亀岡市民の皆さまには市民割引もございますので、
当院ホームページをご覧ください。

亀岡市立病院 検索

新任医師紹介

麻　酔　科



①名　　前 …… 吉岡　清行（よしおか　きよゆき）
②年　　齢 …… 48 歳
③出　　身 …… 京都市
④得意とする診療内容 …… 麻酔科（一般麻酔全般）
⑤趣味など …… 楽器演奏

⑥皆さまへのメッセージ ……

今年度より亀岡市立病院麻酔科に赴任致しました、吉岡清行と申します。

私は京都市の出身で、近畿大学医学部を卒業後、鈴鹿中央総合病院で初期研修を修了したのち、和歌山県立医科大で麻酔科医としての第一歩を踏み出しました。以来、自分にない技術や知識を身につけるために、日本赤十字社和歌山医療センター、三重大学、近畿大学、岡山大学、姫路赤十字病院、鈴鹿中央総合病院、京都医療センターとたくさんの大学や病院を渡り歩き、研鑽を積んでまいりました。

これまで心臓手術や緊急手術の麻酔管理や重症患者さんの全身管理など、緊迫した現場で技術を学んできましたが、一方で「麻酔科医にとって真に重要なのは緊迫した状況での手術麻酔や重症管理よりも、日々の予定手術の麻酔管理である」という信念を持って臨床に向き合ってまいりました。事前に万全の準備を整え、日常の予定手術の麻酔を一つひとつ確実かつ丁寧に行い、何事もなく無事に手術を終えていただくことこそが、最も患者さんの利益につながると考えています。どのような症例であっても慢心することなく、術前の評価から術中の管理、術後フォローに至るまで、質の高い麻酔管理を徹底してまいります。

これまで様々な病院を巡ってまいりましたが、亀岡市立病院を最後の地に定め、定年まで地域の医療に貢献する覚悟で着任いたしました。これまでの経験をすべて還元し、患者さんやスタッフの皆さまから深く信頼していただけるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



2026 年度健康講座について



2026年度の健康講座は、これまでの『講義形式』から『体験型』の健康講座へとリニューアルしました。そして、6月27日(土)に亀岡市立病院ウェルネスホールにて第1回目の健康講座を開催しました。

健康講座の内容は、ロコモ度テストと体組成分分析です。今回は、悪天候の中でしたが、24名の参加がありました。当日は、京都新聞の記者の方が取材に来て下さいました。

感想の中には、「普段の生活では体験しない行動で体力が少しずつ落ちていると実感致しました。ロコモ度、バランスに気をつけなければと今日から少しずつ改善していきたいと思っております。」と日々の生活を見直すきっかけになり、短い時間の中でも、有意義な時間を過ごしてもらえたのではないかと思っています。

● 理学療法士からのメッセージ ●

ロコモとは？

立つ、歩くといった移動するための能力が低下している状態をロコモティブシンドローム(ロコモ)といいます。今回はそのロコモがどの程度進行しているかチェックするロコモ度テストを実施しました。ご参加いただいた50～80歳代の方を対象にテストを実施したところ、約9割の方はロコモが進行している結果となりました。また、テスト終了後は、結果をもとにロコモの予防・改善を目的に運動やストレッチをアドバイスさせていただきました。アンケートから「運動やストレッチを教えてもらい参考になった」等、たくさんの感想をいただきました。運動機能は運動頻度が減ってくると気付かないうちに徐々に低下していることがあります。そのため定期的に運動機能の検査をすることで、今後の健康維持に繋げていただければと思います。



● 検査技師からのメッセージ ●



健康管理で大切なのは、体重そのものよりもその「中身」です。

今回計測した筋肉量、体脂肪量、水分量を参考にして、日々の健康づくりや運動に活かしていただければと思います。

現在、第２回目の健康講座を企画中です。
今後も亀岡市立病院の健康講座に是非足をお運びください。

病院の季節を彩る花や緑

京都丹波
みどりの
里まつり

第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波に寄せて

令和8年9月18日から11月8日にかけて開催されている
「第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波」は、
"食農と環境そしてアートで輝く「京都丹波」"をテーマに、
京都丹波エリア（亀岡市、南丹市、京丹波町）を舞台として
開催される国内最大級の花と緑の祭典です。
当院でも、四季折々の木々や草花が
来院される皆さまを優しく迎えています。
散策や通院の合間に、ぜひ季節の彩りをお楽しみください。



サクラ並木（ソメイヨシノ）
春には敷地内のサクラが一斉に花を咲かせ、病院周辺が華やかな景色に包まれます。ゆっくり歩きながら、満開のサクラをお楽しみください。

季節を彩る花たち



ユキヤナギ（雪柳）
細い枝に小さな白い花をびっしりとつけるユキヤナギ。枝がしなるほど咲く姿が、まるで雪が積もったように見えることから、この名がついています。



ウメ（梅）
まだ肌寒い季節に、ひと足早く花を咲かせるウメ。鮮やかな花色と可憐な姿で、春の気配を知らせてくれます。



ツツジ（白・ピンク）
亀岡市の花として親しまれているツツジ。春から初夏にかけて、白やピンクの花が次々と咲き、病院の植栽を華やかに引き立てます。



アジサイ（紫陽花）
雨の季節にひときわ存在感を増すアジサイ。青や紫、ピンクなど、土壌や品種によって変化する花色も魅力のひとつです。

季節ごとに表情を変える、病院の花や緑。
ご来院の際は、ぜひお気に入りの花を見つけてみてください。

栄養科より

美味しい！簡単！健康レシピの紹介



九条ネギと京水菜のツナ卵レンジ蒸し

今号は、亀岡市でも生産されている京野菜の京水菜と九条ネギを使った、電子レンジで簡単に作れる一品をご紹介します。九条ネギはβ-カロテン（皮膚・粘膜の健康を保つ働きがあります）を多く含み、柔らかな葉と甘みのある風味が特徴です。京水菜はカルシウム（100gあたり210mg：牛乳の約2倍！）を多く含み、シャキシャキとした食感が特徴の野菜です。さらに、ツナと卵を組み合わせることで、たんぱく質も補えます。材料を切って電子レンジで加熱するだけなので、忙しい日の一品にもおすすめです。

作り方

①九条ネギと京水菜は4-5cmに切る。
②耐熱容器に九条ネギ、京水菜、ツナ、めんつゆを入れる。
③溶き卵を回しかけ、ふんわりとラップする。
④電子レンジ（600w）で3分加熱する。卵が固まっていない場合は、様子を見ながら追加で加熱する。
⑤加熱後、混ぜ合わせて盛り付ける。



■材料（1人前）

- 九条ネギ…… 30g
- 京水菜…… 50g
- ツナ缶…… 1/2缶（35g）
  - 水煮：さっぱりと食べたい方におすすめ
  - 油漬：油はβ-カロテンの吸収を高めます
- 卵…… 1個
- めんつゆ（2倍濃縮）…小さじ1

地域連携医のご紹介

当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。
そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

飯野小児科内科医院

院　　長：飯　野　　譲
住　　所：〒621-0846
　　亀岡市南つつじケ丘大葉台2丁目44-1
電　　話：０７７１-２５-００１５
診療科目：小児科・内科
診察時間：午　前　９：００～１２：００
　　※金曜日は慢性疾患患者様の予約診療です。
　　午　後　１７：００～２０：００
休　　診：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



医院より一言

当院は、地域の皆さまにとって身近で気軽に相談できる「かかりつけ医」を目指し、内科・小児科を中心に診療を行っています。高血圧や糖尿病などの生活習慣病をはじめとする慢性疾患の継続的な管理から、風邪や発熱などの急性疾患、小児の一般診療まで、幅広い年齢層の患者さんに対応しています。患者さん一人ひとりの話を丁寧に伺い、それぞれの生活背景も考慮しながら、安心して受診していただける診療を心掛けています。また、より専門的な検査や治療、入院が必要と判断した場合には、亀岡市立病院をはじめ地域の医療機関と密接に連携し、適切な医療へ速やかにつなげています。これからも地域医療の一員として、皆さまに信頼される診療所であり続けたいと考えています。



編集後記

金木犀の香りが心地よい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
今号では、当院の新たな取り組みである「無痛 MRI 乳がん検診」について紹介しました。無痛 MRI 乳がん検診が、これまで乳がん検診を受けることをためらっていた方々にとって、新たな選択肢となれば幸いです。
また、「第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波」の開催にあわせ、院内の木々・草花を紹介する特集を掲載しました。普段何気なく目にしている花や木々にも、それぞれの季節ならではの表情があり、今回改めてその魅力に気づくことができました。表紙についても、広報誌発行以来の水色から緑色へ変更し、花と緑を感じていただける誌面に仕上げています。
この原稿を書いている時点では、フェアの開催前ですが、９月中旬から約２カ月にわたって開催され、期間中は毎週さまざまなイベントが開催されるようで、私自身も子どもと一緒にどのイベントに参加しようか、今からカレンダーとにらめっこしています。皆さまもぜひ、身近なところから京都丹波の魅力を楽しんでみてください。

広報委員会事務局　廣瀬　舜（病院総務課）

外来担当医表

（令和8年9月現在）

診療科	月	火	水	木	金
一般内科	計良 夏哉（第1・3・5週） 木村 兌弘（第2・4週）	木村 史子	松木 あゆみ	松本 洋典	木村 史子
	中島 尚子	志村 勇司（血液）		松尾 龍平	
循環器内科（予約）	北村 道敬	松木 あゆみ（午前）	伊藤 之康（午前）	–	松木 あゆみ（午前）
消化器内科（予約）	小原 知也	城野 孝夫	–	中島 尚子（午後）	小山 友季
内科（予約）	–	–	–	木村 史子（午前）	–
糖尿病内科（予約）	–	山本 慎大	北川 功幸	北川 功幸	濵口 真英
呼吸器内科（予約）	春名 茜	–	–	廣瀬 和紀	–
神経内科（予約）	玉井 郁也 山口 峻輝（交代制）	–	–	–	吉田 舞花
ペースメーカー外来（予約）	–	–	–	–	松木 あゆみ（偶数月の第3週）
皮膚科	–	–	安井 茉緒	–	中村 健太郎
泌尿器科	–	早川 啓太	–	井上 魁（第1・3・5週） 高橋 輝（第2・4週）	–
外科1診	井村 健一郎	田中 宏樹	松田 隼人	田中 宏樹	井村 健一郎
外科2診	熊田 早紀子（乳腺）	廣谷 凪紗（乳腺）	–	–	西田 真衣子（乳腺）
外科 午後（予約）	熊田 早紀子（乳腺）	–	田中 宏樹（乳腺）	–	西田 真衣子（乳腺）
	井村 健一郎（肛門外来）				
麻酔科（ペインクリニック）	橋本 朋子（午前）	–	–	–	橋本 朋子（午後）
眼科	青木 崇倫	担当医	奥 拓明（第2・4週）	粥川 佳菜絵	–
整形外科1診	久保 恭臣	–	久保 恭臣	西 亮祐	大橋 要
整形外科2診	鎌田 陽一郎	中村 悟	鎌田 陽一郎	–	–
整形外科3診	玉井 和夫	成田 渉	玉井 和夫	–	–
小児科	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二
小児科 代謝・内分泌	杉本 哲（第1・3週）	–	–	–	–
小児科 午後（予約）	寺町 紳二（循環器）	寺町 紳二（予防接種）	寺町 紳二（予約外来）	寺町 紳二（循環器・アレルギー）	寺町 紳二（予約外来）
小児科 夜診	–	–	–	寺町 紳二（17時15分診察開始）	–

※都合により変更になることがありますので、最新情報はホームページでご確認をお願いします。

亀岡市立病院
亀岡市立病院訪問看護ステーション

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/



亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。

UD FONT
亀岡市立病院広報誌「桔梗」はユニバーサルデザインフォントを使用しています。

JR馬堀駅から徒歩約5分/
京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車（輪）場有